

いずも

つながる

ひろがる

ささえあう

vol. 156 | 1月・2月号 | 令和7年2月20日発行 |

社会福祉法人
出雲市社会福祉協議会



TOPIC! 《p2》特集 市民の目線で市民に寄り添う伴走者 市民後見人

《p4》「もったいない」から「ありがとう」へ
～フードドライブ5年間のあゆみ～

《p6》お知らせ・募集

- ・各種表彰の受賞者紹介
- ・出雲市社協公式 Instagram 開設
- ・赤い羽根共同募金 令和8年度助成事業募集

災害義援金・海外救援金

《p7》ご寄附ありがとうございます

《p8》「出雲市子ども食堂サイト」はじめました!

いずりんレポート

- ・学生みらい食堂
- ・伊波野地区「サンタがおうちにやってきた!？」
- ・歳末たすけあい事業

知ってますか? 赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」

特集

市民の目線で市民に寄り添う伴走者

し　　みん　　こう　　けん　　にん 市民後見人



おぞえ たかし
尾添 隆さん
平成25年度研修生。(第1期生)
令和5年4月から活動。



まつい さちこ
松井 幸子さん
令和5年度研修生。(第2期生)
令和6年11月から活動。



なかたに しょうじ
中谷 昭二さん
令和5年度研修生。(第2期生)
令和6年10月から活動。

出雲市では平成25年度から市民後見人養成研修をスタート。

今年度新たに2人の市民後見人が誕生し、現在3人が活動中です。

そのみなさんに市民後見人への一步を踏み出したきっかけや活動を通して感じたことなど、お話をうかがいました。

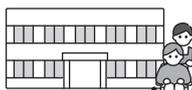
あなたやあなたの大切な人の 財産や暮らしを守る 「成年後見制度」

私たちは、日々の生活の中で様々な判断をしながら過ごしています。しかし、金銭の管理や必要な手続きなどの判断を自分一人ですることが難しくなってきたらどうしたらよいのでしょうか。

そのような困りごとを抱える方も地域で安心して暮らせるよう、様々なサポートをする制度が「成年後見制度」です。

成年後見制度って？

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより物事を判断する能力が十分でない人について、本人に代わって契約手続きや財産管理などを行う「成年後見人等」を家庭裁判所が選任します。選任された「成年後見人等」はご本人の気持ちを大切に、次のようなサポートを行います。

<p>財産の管理</p> <p>通帳の保管や支払いのお手伝い</p>  <p>必要のない不利益な契約の取り消し</p> 	<p>身上面の支援</p> <p>入院・施設入所契約などのお手伝い</p>  <p>書類確認と手続きのお手伝い</p>  <p>定期的な訪問や見守り</p> 
---	---

※入院・入居等の保証人や身元引受人及び入院、手術等の同意や介護などはできません。

成年後見制度には「法定後見制度」と「任意後見制度」の2つの制度があり、既に判断能力が不十分な人が利用する法定後見制度はその判断能力の度合いにより、「後見」「保佐」「補助」の三つに分かれます。

まだ判断能力が十分あるうちに、将来に備えておくのが任意後見制度です。

成年後見人は誰がなるの？

弁護士、司法書士、社会福祉士など法律や福祉の専門家、社会福祉法人やNPO法人などの法人、親族や一定の研修を修了した市民などがなることがあります。

本人のためにどのような支援が必要かなど事情に応じて、相応しい方を家庭裁判所が選びます。

市民後見人って？

専門職や親族が成年後見人等として行う後見活動と同様に支援を行います。

特に、市民後見人は、ご本人と同じ地域に住む方が、市民の目線で、ご本人の意思を丁寧に把握し、地域に密着した活動を行うことが期待されています。



市民後見人養成研修を受講したきっかけは？

松井 たまたま研修のチラシを見ただけです。資格が不要だったので、「わたしでもなれるかも」という気持ちで参加しました。ちょうど退職を考えていたタイミングで、これまでたくさんの人に助けていただいた分、これからは恩返しのできたらと思っていました。

中谷 病院の相談員として30年勤め、4年前に定年退職しました。午前中だけケアマネの仕事をしていますが、生活のメリハリや支柱となるものがあればと考えていました。かっこよく言えば社会貢献できればなど。そんな時に研修の案内を見て「前職の経験を活かしながらできるかも」とリラックスした気持ちで応募しました。

尾添 知人に誘われた落語の寄席で成年後見制度の話聞いて、その帰りに「こうしたもんがあるけん受けてみるだわ」と研修を勧められたんです。職員だったのでそれとなく知っていましたが、当時出雲市で取組が始まったばかりで受講者も少なくて…。うまいこと誘導されましたね(笑)。



成年後見制度へのイメージは？

松井 ぼんやりとしたイメージはありました。一人暮らしの親戚のお世話を夫がしていて、公証人役場で遺言書を作成するような、いわゆる終活のサポートも。ご本人から「助かる」と感謝の言葉をいただいていたんですが、急逝されて…。でも、死後のことも話し合っていたので、親戚も納得して色々な手続きを進めることができました。何も決めていなかったら、あたふたしたと思います。みなさんが安心された様子を見て、こういうことが本場に必要なんだと実感する出来事でした。

尾添 後見人といえば縁故者がすることが多いですし、難しいケースは専門職が担うという形だったので、市民後見人の需要があるのかなと思っていました。実際、研修を修了してもしばらく活動はなくて。そこで社協から日常生活自立支援事業の生活支援員にと声がかかり、利用者を受け持ちました。その経験を経て、昨年初めて市民後見人として受任することになりました。

養成研修で印象に残ったことは？

中谷 法律用語が難しかったですね。でも、昨年度は30人程度受講していて、和気あいあいとした雰囲気です。あと、弁護士や裁判官など

日頃聞かない方の話を聞いて新鮮でした。

松井 ご本人が入所されている施設職員の方から市民後見人をするうえで「分からんことは聞いてね」と話があり、とても心強く、「聞いていいんだ！」と安心しました。



市民後見人として活動してみようですか？

中谷 ケースを受任して、人のお金を預かることに緊張感がありました。そんな経験はしたことがありませんでしたので…。

松井 私も人の大切な書類を預かる時は「なにかあってはいけない」と、とても慎重になりました。

中谷 後見人としてどこまですべきか迷うことはあります。まずはコミュニケーションをとるために週1回連絡をしていました。ご本人やご家族との関係性ができるとぐっとやりやすくなりましたね。後見人だと認識してもらえそうでした。

尾添 後見人としての仕事はここ

まで、という線引きがあっても頼まれると「行ってあげようかな」となりませぬ(笑)。ご本人がどこまで分かっているのか、満足されているのか、意思疎通の難しさは感じています。

松井 施設職員の方が日頃の様子を教えてください、お菓子をおみやげで持って行くことも喜んでいただけました。自分と顔を合わせることを生活の楽しみにしてもらえることがうれしいですね。後見人の役目は金銭管理がメインなのでしようが、こういう関係づくりも大切にしていきたいです。

中谷 研修でも話のあった「同じ市民目線での関わり」というところが納得できました。金銭管理だけではなく、身上面の支援が大事だと感じています。

被後見人との関わりを通じて感じたことは？

松井 障がいのある方と関わり、忘れていたことに気付かされました。「自分でできることをもっていかないと」と考える機会をいただいています。本場にありたいです。



中谷 正直、自分も何があるか分からないんだと感じました。後見人として冷静に見るところと感情移入するところと半々です。縁あって出会わせていただいたので、この経験を大切にしていきたいです。

尾添 受け持ちの方は知的障がいと身体障がいのある方で、ずっと施設での生活をされています。会いに行ってもどの程度理解されているかなと思っていましたが、会うたびに表情に変化があり、通じているものがあるんだと感じました。施設職員の方は長い間関わり、本人のことがよく分かっています。関わり続ける時間が力になるんだと思いました。

これからの活動への思い

松井 スタートしたばかりで手探り状態というのが本音です。でも、事務的なことはもちろん必要ですが、「人と人」であることを大切にして、少しでも安心や楽しさを感じてもらえるように寄り添っていきたいです。

中谷 ご本人の人生がうまくいくように努めたいです。「あの人なら大丈夫！」と信頼感をもってもらえる後見人になっていきたいです。
尾添 ひとくちに成年後見と言ってもケースバイケース。後見人のあり方を問い続け、その人に合ったその人だけの支援を探していきたいです。



ご支援とご協力に感謝

出雲市社会福祉協議会 会長 渡部 英二



昨年の12月12～14日の3日間にわたって実施した緊急食料品支援（フード・ドライブ）では、494世帯・1540人の方々に食料や日用品を届けることができました。200人を超える個人・企業・団体から心のこもった食品等の提供をいただいたおかげで、お困りの方々にお届けすることができました。

2020年1月から始まったコロナ禍で、全国的に生活上の困難に直面するみなさんが増え、それは今でも続いています。そのため、出雲市社会福祉協議会では多くの市民・企業・団体へ食品や日用品の提供を広く呼びかけ、集まったものを必要な人にお配りするフード・ドライブに取り組んできました。2020年から夏と年末の2回実施し、今回で10回目となります。

今回の実施にあたっては、物価高の影響や主食である米がなかなか集まらないなどの心配をしましたが、農政会議やJA出雲地区本部をはじめ、多くのみなさんのご協力で目的を達成することができました。ご支援・ご協力をいただいたみなさまに心から感謝いたします。ありがとうございました。

2023年

第7回 8/11(金・祝) 申込者 1,582人

夏休み企画！お菓子のつかみどり😊



第8回 12/16(土) 申込者 1,903人

市内子ども食堂手作りのおしるこや野菜・日用品コーナーも喜んでいただけました！



2024年

第9回 お米のフードドライブ 8/1(木)～3(土) 申込者 1,218人

子育て世帯向けおさがりコーナー設置🍷
大雨による道路陥没の影響により来場できない日御碕地区の方へ配達🚚
米不足や物価高騰のなかご支援いただき、地域のみなさんへ改めて感謝する回に。



第10回 歳末だんだんフードドライブ 12/12(木)～14(土) 申込者 1,540人

申込された494世帯・1,540人へ食品などをお渡ししました。物価が高騰するなか、たくさんの企業・団体、地域のみなさんにご寄贈いただきました。また、有志ボランティアや地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会に加え、平田地域福祉のまちづくり協議会・平田地域福祉研修協議会のみなさんと協働し、完遂することができました。本当にありがとうございました！



慮がちに電話があり、今回で参加させていただきました。驚いたのは社協職員の努力と娘と参加し、「楽しかった」経験を重ね、は友人6人でた喜びをその現場は機会にお声



ンティア 松浦 絹子様

ありがとうメッセージ

- シングルマザーで金銭的に余裕がなく、子どもにお菓子、服、遊び道具を買ってあげられないので、子ども服や絵本、おもちゃがいただけたのがとてもうれしかったです。また、応援のメッセージもありがとうございました。ひとりじゃない、たくさんの方が支えてくださっているんだとうれしく思いました。
- なによりお米やお野菜までいただけたのがとてもありがたかったです。お米や野菜は子ども達にたくさん食べさせてあげたいのに、値上がりばかりで...感謝してもきれないです。また、ボランティアの方々がとても優しく、「これも持って行く?」「子育てがんばってね!」と寄り添っていただきました。大変なことはたくさんあるけれど、私たち家族の周りには優しい人がたくさんいると実感でき、前向きな気持ちになりました。わたしも余裕ができればボランティアという形で優しさのバトンをつないでいきたいです。



もったいないから ありがとう

出雲市社協フードドライブのあゆみ

新型コロナウイルスの感染拡大等の影響により日々の暮らしが一変した2020年。休業や失業に陥り、本会へ相談される方が激増しました。

このような状況から、「出雲市社協としてなにかできることを」との思いから、生活にお困り支援する“フードドライブ”を開催。2020年に第1回を行い、地域のみなさまからのご支10回目を迎えました。

これまでのフードドライブのあゆみ

2020年

第1回 9/19(土) 来場者 約200人

感染対策を講じ初の開催。市内外300もの個人・企業・団体から食品等が寄せられました。地域から大きな反響があり、社協の使命を再確認する事業に！



第2回 12/12(土) 申込者 300人

新型コロナウイルス感染拡大のため配達対応🚚島根大学医学部や島根県立大学の学生にも物資を届けました！



2021年

第3回 4/29(木・祝) 申込者 800人

島根県立大学とのコラボ企画！寄贈食材で新生をおもてなし🌸支援を受けた学生が“支える側”に。



コラボ企画の特集記事はこちら
社協だよりいずもvol.134

第4回 12/11(土) 申込者 589人

今市地区有志の手作りちらし寿司をお渡し🍣
地域へ支援の輪が広がりました！



2022年

第5回 7/16(土) 申込者 649人

新型コロナウイルス感染拡大のため配達対応🚚



第6回 12/17(土) 申込者 836人

地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会との協働スタート！島根県立大学レシピ & 市内子ども食堂手作りお菓子プレゼント🍪



「私にできる小さなボランティア」、誰かの役に立てるならという気持ちでフードドライブに参加させていただいています。実際、社協の方から現状の話を伺うまでは、テレビの中だけのことだと思っていました。出雲市にも実際に困っている方がたくさんおられることを知って驚きました。

当日は、お菓子をたくさん抱えてうれしそうな子どもの笑顔がたくさん見れて、こちらまで元気をもらいました。これからも、少しでも人の役に立てるよう私にできるボランティアをしていきたいです。

地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会

社会福祉法人ことぶき福祉会 今津様

「今年も手伝っていただけませんか？」社協の方から遠く3回目です。現場を体験したいと常々思っていたので喜んでフードドライブのことは知っていましたが、現場へ行くと企業や各家庭からの愛あふれた物品の山々。初回は孫と2人も興奮していました。子ども達も色々な所へ出て体人のお世話ができる生き方をと願っているのです。今回と6日間参加し、慣れない仕事でしたが、人のお役に立「誘ってくれてありがとう」と笑顔で感謝されました。優しく、温かく、愛にあふれていました。またこのようなを掛けてくださいますように。

有志ボラ



各種表彰の受賞者紹介

ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰

日本語ボランティア ゆうわ

25年の長きにわたり、出雲市近郊で暮らす外国籍の方々への日本語の指導や異文化交流の功績が認められました。学習者一人ひとりへのきめ細やかな対応や日本文化を通じた交流を行うことで、言葉の壁や生活への不安を解消し、暮らしの安心づくりに尽力。学習者からの信頼が厚く、なくてはならない存在となっています。



代表 鶴石一樹さん

25年を迎える節目の年に賞をいただき励みになります。みんなで分かち合い、今後も活動を続けていきたいです。

全国社会福祉協議会会長表彰

民生委員児童委員功労

乙立地区民生委員児童委員協議会
副会長 坂根 芳美さん



24年の長きにわたり主任児童委員として活動。乙立地区民児協の副会長や出雲市民児協の女性代表を務め、女性ならではの視点で住民の暮らしに寄り添いながら地域福祉活動に尽力されています。

出雲市社協公式 Instagram 開設

このたび公式アカウントを開設しました！
地域のみなさんに出雲市社協のことをもっと知ってもらうべく、社協の取組や地域の活動、福祉の豆知識など随時発信していきます。お気軽にフォローください！



赤い羽根共同募金 令和8年度助成事業募集

赤い羽根共同募金は、福祉活動の資金を必要としている団体からの申請に基づいて目標額を定め、募金活動を行う計画募金です。

令和8年度の助成事業募集については、令和7年4月初旬に島根県共同募金会のホームページに掲載されます。助成事業の申請受付時期は例年4月から5月31日までです。ぜひ、ご活用ください。

【対象事業】

社会福祉を目的とした事業・活動／社会福祉施設の整備、機器・車両等の購入等

問合せ・申込先

島根県共同募金会 ☎0852-32-5977

島根県共同募金会出雲市共同募金委員会

(事務局：出雲市社会福祉協議会総務課内) ☎23-3781

災害義援金・海外救援金のお知らせ

名称	送金額(1月31日現在)	受付期間
令和6年能登半島地震災害義援金 ※配分先：石川県、富山県、新潟県	これまでの送金額 6,172,495円	令和7年12月26日まで
令和6年7月25日からの大雨災害義援金 ※配分先：山形県	これまでの送金額 22,565円	令和7年3月31日まで
令和6年9月能登半島大雨災害義援金 ※配分先：石川県	これまでの送金額 620,487円	令和7年12月26日まで
令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金	これまでの送金額 0円	令和7年3月31日まで
バングラデシュ南部避難民救援金	これまでの送金額 11,000円	令和7年3月31日まで
ウクライナ人道危機救援金	これまでの送金額 2,532,563円	令和7年3月31日まで
アフガニスタン人道危機救援金	これまでの送金額 10,000円	令和7年3月31日まで
イスラエル・ガザ人道危機救援金	これまでの送金額 29,382円	令和7年3月31日まで

問合せ先／日本赤十字社島根県支部出雲市地区（事務局 出雲市社会福祉協議会本所・各支所）



STOP 特殊詐欺!

出雲市役所職員をかたる詐欺電話が多発中!
おかしいと思ったらすぐ相談!

緊急時は110番へ!



ご寄附 ありがとうございます

令和6年11月11日～令和7年1月10日受付分（敬称略）

*出雲市社会福祉協議会ではご寄附いただいた方のご意志を尊重し、氏名等を掲載しています。なお、金額は掲載しませんのでご了承ください。

一般寄付

<団体>

株式会社カイハツ

出雲中央ロータリークラブ

出雲市交友会

平田地区社会福祉協議会（フードドライブ協力金として）

学研西平田教室（3周年の祭りのバザー収益として）

平田中学校合唱部（平田中学校合唱部定期演奏会チャリティー募金として）

<出雲>

大津町 金山 勝紀
清水 典子

<斐川>

上直江 原 忠行

香典・玉串料・お花料返し

（ ）内は故人

<出雲>

今市町 錦織 誠（努）

今市町 釜田 美幸（佐藤 美和子）

大津町 成相 修（アキ子）

大津町 下垣 光子（義一）

大津町 濱村 一雄（久治）

大津朝倉 坂本 洋子（光男）

上塩治町 杉原 俊晴（邦子）

塩治町 柘植 雄二（稲子）

白枝町 渡部 寿昭（富栄）

白枝町 後藤 幹夫（美智子）

浜 町 中島 健司（良樹）

浜 町 石橋 信幸（茂）

矢野町 徳山 泰司（幸）

矢尾町 三成 隆史（重徳）

武志町 吾郷 啓子（尚久）

上島町 嘉本 仁志（久仁男）

大島町 間島 治（慶子）

西園町 金築 秀俊（慧子）

<平田>

平田町 松村 博志（一志）

平田町 長岡 利幸（芳明）

灘分町 北村 佳治（邦枝）

灘分町 山本 雅人（達雄）

灘分町 吾郷 佳昭（ハツヨ）

西代町 原 敏久（八代江）

国富町 太田 勇治（久雄）

本庄町 勝部 哲也（武夫）

万田町 川瀬 浩司（文枝）

河下町 錦織 広美（文子）

河下町 高橋 一夫（久子）

猪目町 野津 満子（義幸）

東福町 村田 康夫（幸子）

東福町 湯村 充（恒則）

東福町 恩田 玲子（登喜子）

上岡田町 三島 圭子（正一）

岡田町 川谷 律子（伊藤 登）

多久谷町 市川 和樹（美代子）

多久谷町 田中 豊（徳子）

多久町 新宮 有史（正）

園 町 長崎 吉法（文枝）

園 町 橋本 知巳（イキ）

鹿園寺町 立石 眞通（敦子）

十六島町 渡部 忠雄（玉子）

三津町 來海 学（洋子）

三津町 池尻 剛（光房）

小伊津町 土江 宣行（佳子）

小伊津町 佐藤 幸雄（政子）

地合町 松本 民子（敏夫）

<佐田>

反 辺 板垣 富成（治美）

反 辺 今岡 浩充（恵美子）

毛 津 今岡 隆（弘子）

佐津目 吉川 賢二（政雄）

<多伎>

口田儀 竹下 都（薫）

小 田 曾田 晴子（英明）

多 岐 月輪 和義（貞男）

多 岐 山本 幸治（秀子）

多 岐 山本 泰（和男）

<湖陵>

三 部 今若 晟士（伊和代）

二 部 吉田 敦（松枝）

<大社>

入 南 足立 智己（寛子）

中荒木 曾田 善樹（雄司）

杵築南 大國 和久（晴子）

杵築西 吉岡 穂高（宏）

杵築北 田中 浩人（善宏）

<斐川>

学 頭 勝部 徹夫（武）

学 頭 飯野 修二（夕美子）

荘 原 江角 守（定雄）

荘 原 飯野 さち子（悦郎）

上庄原 玉木 真二（英子）

出 西 鬼村 和人（知富）

出 西 白根 実（英子）

出 西 荒木 アサ子（幸次）

求 院 常松 マチ子（吉治）

富 村 岡 慶彦（正樹）

原 鹿 江角 豊（康宏）

冲 洲 錦織 昇（常子）

黒 目 古川 貴志（洋吉）

三分市 玉木 久好（美智子）

三分市 川上 達弘（忠）

三分市 中島 久（茂子）

三分市 飯塚 治夫（民子）

匿名

23件

ご寄贈

<団体>

出雲西地区郵便局長夫人会 出雲第三部会

皆さまからのご寄附は、市内で福祉活動を行う団体及び各地区社会福祉協議会への助成などに使わせていただいております。

- 出雲市社会福祉協議会に対する寄附は、住民税と所得税の控除対象になります。また、寄附者が法人の場合には、損金算入の制度が利用できます。

【例】出雲市にお住まいの方が本会へ50,000円の寄附をされた場合

※税額控除を選択した場合

〔1〕所得税（50,000円－2,000円）×40%＝19,200円

〔2〕住民税（50,000円－2,000円）×10%＝4,800円

〔1〕＋〔2〕＝24,000円……税額控除額となります。

※一例であり、個々のケースにより控除額は変わります。詳しくは税務署等へお問い合わせください。

- 「地区の社会福祉協議会へ寄附をしたが、市の社協だよりに掲載されていない」とのお問い合わせにつきまして、本会と各地区の社会福祉協議会は地域福祉の推進におけるパートナーであり連携して事業を行っておりますが、別の団体であることから、各地区社会福祉協議会に対する寄附はこの紙面に掲載しておりません。ご了承ください。



